

— 第24号 —

平成22年10月27日発行

ちく せい
筑西

市議会だより

編集 筑西市議会広報特別委員会 / 発行 筑西市議会



ソバの花と筑波山

目次

議案説明.....	2ページ
決算特別委員会の審査.....	3ページ
請願・陳情・意見書.....	3ページ
議決一覧表.....	4ページ
人事紹介.....	5ページ
議案質疑.....	5～6ページ
一般質問.....	7～11ページ
議会日誌.....	12ページ
編集後記.....	12ページ

■主な内容■

平成22年第3回定例会

～平成21年度決算など

37案件を審議～

平成22年第3回定例会は、9月1日から9月15日までの15日間の会期で開催されました。

今定例会では、平成21年度決算を中心に一般会計補正予算案や条例案など37案件について慎重に審議されました。

平成22年第3回定例会 議案説明

今定例会に上程された議案は次のとおりです。

○議案第43号から46号は、人権擁護委員の推薦につき意見を求めるものです。

○議案第47号は、関城地区における県からの譲与による1路線の廃止、明野地区における誤認定による1路線の廃止、協和地区における起点変更による1路線の廃止、計3路線を廃止するものです。

○議案第48号は、下館地区における寄附行為及び開発行為による5路線の認定、関城地区における県からの譲与による2路線の認定、協和地区における起点変更による1路線の認定、合計8路線を認定するものです。

○議案第49号は、市が実施する特定健康診査及び特定保健指導の根拠法令である国民健康保険法の一部改正に伴い、引用条項の改正を行うものです。

○議案第50号は、協和ふれあいセンター内にある浴室を平成23年1月1日から廃止するため、所

要の改正をするとともに集会室の使用料を改正するものです。

○議案第51号は、筑西市協和総合センター条例及び筑西市明野農村環境改善センター条例の3条例について、指定管理者に係る指定期間を3年9月から5年に改正するものです。

○議案第52号及び53号は、来年4月の指定管理者の再指定に伴い、行政コスト縮減のため、使用料を利用料金に改め、当該料金を指定管理者の収入とするほか所要の改正をすることをします。

○議案第54号は、河川法の規定により、国土交通省から許可を受け、農業水利のために鬼怒川から取水する勝瓜頭首工の取水量がこの度変更されたため、当該取水量の規定を改正するものです。

○議案第55号は、市民病院の医師を確保するため、新たに採用した医師の給与について採用前の年収と同水準になるように、特殊勤務手当として特別勤務調整手当を創設するものです。

○議案第56号は、市民病院の4階病棟の個室8室を改装することに伴い、特別の病室の加算料金及び助産に係る設備の使用料を

改正するものです。

○議案第57号は、一般会計の補正予算で、歳入歳出にそれぞれ3億788万余円を追加し、総額をそれぞれ359億6,991万余円とするものです。主な内容は、小規模特別養護老人ホーム施設整備費の1億3,158万余円、認定こども園整備事業費の2,658万余円、道路維持補修事業費の5,400万円の増額などです。

○議案第58号は、老人保健特別会計補正予算で、主なものは、社会保険診療報酬支払基金返還金と一般会計繰出金の増額です。

○議案第59号は、後期高齢者医療特別会計補正予算で、主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金や、一般会計繰出金の増額です。

○議案第60号は、公共下水道事業特別会計補正予算で、公共下水道排水設備整備費の増額です。

○議案第61号は、介護保険特別会計補正予算で、主なものは、介護給付費準備基金積立金の増額です。

○議案第62号は、介護サービス事業特別会計補正予算で、一般会計繰出金の増額です。

○議案第63号は、病院事業会計補

正予算で、主なものは、収入は4階病棟再開に伴う入院医療費の増額、支出は、医師及び看護師増に伴う給与費の増額です。

○議案第64号は、一般会計の補正予算で、新型インフルエンザワクチン接種実費負担費用軽減事業費の増額です。

○認定第1号は、平成21年度一般会計及び特別会計の決算を認定するものです。

○認定第2号は、平成21年度水道事業会計の決算を認定するものです。

○認定第3号は、平成21年度病院事業会計の決算を認定するものです。



決算特別委員会の 審査から

決算特別委員会は、9月10日、13日の2日間開かれ、平成21年度の一般会計、特別会計及び企業会計における決算を審査し、これら決算はいずれも認定すべきものと決しました。また、15日の本会議においても、原案のとおり認定されました。

委員会での主な審査の内容は次のとおりです。

- ▽市長ほつとラインについて
- ▽職員研修経費、職員健康管理経費、契約検査関係経費、防災訓練開催事業について
- ▽公共交通対策経費、総合振興計画推進費、協働のまちづくり経費、土地開発基金、シテム開発費について
- ▽市税の収納及び不能欠損額、収入未済額、延滞金について
- ▽戸籍住民基本台帳経費、ごみ収集処理費、産業廃棄物関係経費、防犯灯関係経費について
- ▽女性特有のがん検診推進事業、成人検診事業について
- ▽国民健康保険事業における国

保税の徴収率について

- ▽後期高齢者医療における短期保険証運用基準について
- ▽生活保護者扶助事業、子育てアドバイザー運営事業、地域子育て支援センター運営事業、在宅心身障害者市単独扶助事業、高齢者等の生活支援事業（愛の定期便事業）について

- ▽商工業振興事業、農業振興関係事務費について
- ▽一本松・茂田線整備事業、道路維持補修事業、市営住宅維持管理経費、公園維持管理経費、都市再生整備経費について

- ▽公共下水道事業における整備面積、加入率、処理人口について
- ▽農業集落排水事業における収入未済額について

- ▽県西広域水道用水供給事業の契約水量、配水量と有収水量、企業債の借換について
- ▽小学校教育振興助成事業、小中学校耐震化事業、外国語指導関係経費、文化振興事業、図書館資料費、美術館企画展開催事業について

- ▽市民病院における企業債の借換、医師確保、器械備品の納入時期について

【決算特別委員会委員】

- ◎須藤 茂 ○尾木 恵子
 - 増淵 慎治 百目鬼 晋
 - 内田 哲男 金澤 良司
 - 榎戸甲子夫 藤川 寧子
 - 山口 明 秋山 恵一
 - 片平 忠行 關 四郎
 - 三浦 讓
- (◎委員長 ○副委員長)

請願

継続審査になっていた請願第2号及び今定例会に上程された請願2件は、関係常任委員会において慎重に審査を行い、9月15日の本会議で次のとおり議決されました。

- ▲請願第2号 コミュニティプラザと文化ギャラリーを「公立」のままに残す請願

(継続審査)

- ▲請願第5号 子宮頸がんの予防措置実施の推進を求める請願

(採択)

- ▲請願第6号 子宮頸がん予防ワクチン接種への公費助成を求める請願

(採択)

陳情

次の陳情は9月定例会までに受け付けたものです。関係常任委員会において慎重に審査を行い、9月15日の本会議において、次のとおり議決されました。

- ▲「自主共済制度の保険業法適用除外」実現を求める陳情

(採択)

意見書

議員提出による意見書案2件は、9月15日の本会議において原案のとおり可決され、同日付で政府及び関係機関に送付されました。

- ▲子宮頸がんの予防措置実施の推進を求める意見書

- ▲保険業法の制度と運用を見直し、自主共済制度の保険業法適用除外を求める意見書



平成 22 年第 3 回 定例会 議決 一覧表

事件の番号	件 名	議決月日	議決結果
選挙第 4 号	筑西広域市町村圏事務組合議会議員の補欠選挙について	9.15	当選人決定
選挙第 5 号	下妻地方広域事務組合議会議員の補欠選挙について	9.15	当選人決定
選挙第 6 号	県西総合病院組合議会議員の補欠選挙について	9.15	当選人決定
推薦第 2 号	筑西市農業委員会委員の推薦について	9.15	推薦に決定
報告第 9 号	処分事件報告について(和解に関する事及び損害賠償の額を定めることについて)	9.1	報 告
報告第 10 号	処分事件報告について(和解に関する事及び損害賠償の額を定めることについて)	9.1	報 告
議案第 43 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	9.1	推薦に同意
議案第 44 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	9.1	推薦に同意
議案第 45 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	9.1	推薦に同意
議案第 46 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	9.1	推薦に同意
議案第 47 号	市道路線の廃止について	9.15	原案可決
議案第 48 号	市道路線の認定について	9.15	原案可決
議案第 49 号	筑西市国民健康保険条例の一部改正について	9.15	原案可決
議案第 50 号	筑西市協和ふれあいセンター条例の一部改正について	9.15	原案可決
議案第 51 号	筑西市協和総合センター条例等の一部改正について	9.15	原案可決
議案第 52 号	筑西市新治駐車場条例の一部改正について	9.15	原案可決
議案第 53 号	筑西市自転車等駐車場条例の一部改正について	9.15	原案可決
議案第 54 号	筑西市勝瓜頭首工管理条例の一部改正について	9.15	原案可決
議案第 55 号	筑西市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	9.15	原案可決
議案第 56 号	筑西市民病院の診療料等に関する条例の一部改正について	9.15	原案可決
議案第 57 号	平成 22 年度筑西市一般会計補正予算(第 2 号)	9.15	原案可決
議案第 58 号	平成 22 年度筑西市老人保健特別会計補正予算(第 1 号)	9.15	原案可決
議案第 59 号	平成 22 年度筑西市後期高齢者医療特別会計補正予算(第 1 号)	9.15	原案可決
議案第 60 号	平成 22 年度筑西市公共下水道事業特別会計補正予算(第 1 号)	9.15	原案可決
議案第 61 号	平成 22 年度筑西市介護保険特別会計補正予算(第 1 号)	9.15	原案可決
議案第 62 号	平成 22 年度筑西市介護サービス事業特別会計補正予算(第 1 号)	9.15	原案可決
議案第 63 号	平成 22 年度筑西市病院事業会計補正予算(第 1 号)	9.15	原案可決
議案第 64 号	平成 22 年度筑西市一般会計補正予算(第 3 号)	9.15	原案可決
認定第 1 号	平成 21 年度筑西市一般会計及び特別会計決算認定について	9.15	原案認定
認定第 2 号	平成 21 年度筑西市水道事業会計決算認定について	9.15	原案認定
認定第 3 号	平成 21 年度筑西市病院事業会計決算認定について	9.15	原案認定
請願第 2 号	コミュニティプラザと文化ギャラリーを「公立」のまま残す請願	9.15	継続審査
請願第 5 号	子宮頸がんの予防措置実施の推進を求める請願	9.15	採 択
請願第 6 号	子宮頸がん予防ワクチン接種への公費助成を求める請願	9.15	採 択
陳情第 2 号	「自主共済制度の保険業法適用除外」実現を求める陳情	9.15	採 択
議員提出議案第 10 号	子宮頸がんの予防措置実施の推進を求める意見書(案)の提出について	9.15	原案可決
議員提出議案第 11 号	保険業法の制度と運用を見直し、自主共済制度の保険業法適用除外を求める意見書(案)の提出について	9.15	原案可決

人事紹介

筑西広域市町村圏事務組合議会

議員の補欠選挙

筑西広域市町村圏事務組合議会議員に2名の欠員が生じ、補欠選挙の結果、次の議員が当選されました。

赤城 正徳 議員

三浦 讓 議員

下妻地方広域事務組合議会

議員の補欠選挙

下妻地方広域事務組合議会議員に1名の欠員が生じ、補欠選挙の結果、次の議員が当選されました。

片平 忠行 議員

県西総合病院組合議会

議員の補欠選挙

県西総合病院組合議会議員に1名の欠員が生じ、補欠選挙の結果、次の議員が当選されました。

水柿 一俊 議員

農業委員会委員を推薦

議会推薦の農業委員会委員に1名の欠員が生じたため、次の方を推薦しました。

【議会推薦の農業委員会委員】

關 四郎

人権擁護委員の推薦に同意

人権擁護委員のうち4名が任期満了となるため、人権擁護委員法の規定により議会の意見を求められ、次の方の推薦に同意しました。

堀江 潔（再任）

筑西市甲386番地2

横川 日成（再任）

筑西市大谷632番地

加藤 清位（再任）

筑西市二木成1232番地

齊藤 芳枝（新任）

筑西市西方1552番地2

議案質疑

全議案に対する質疑は、9月8日に行われ、5人の議員が37項目に及ぶ質疑をしました。その主なものは次のとおりです。

協和ふれあいセンターの浴室廃止について

【質疑】 来年1月1日から協和ふれあいセンターの浴室の利用を廃止する条例改正だが、浴室利用状況について伺いたい。

【健康増進部長】 集会所と浴室をあわせて使用料を徴収している関係から、年度別の浴室利用者は集計していないが、本年6月25日から7月20日までの開館日20日間の調査では、1日当たりの利用者数は、集会所と浴室の利用者が16名、浴室のみの利用者が12名であり、近年の集会所と浴室の利用割合も同じような状況であると考える。

【質疑】 浴室を廃止するならば、利用している人たちの需要や要望をどのように酌んでいくかが大切だと思いがいかか。

【健康増進部長】 あけの元気館を代替施設として考えている。利



協和ふれあいセンター

市民病院医師の特別勤務調整手当について

【質疑】 市民病院の医師に特別勤務調整手当を支給する条例だが、その目的と概要を伺いたい。

【市民病院事務部長】 安定的な医師確保を図ることを目的としている。新たに本市の医師となった者が、採用前に受けていた医療業務



市民病院

に係る1年間の収入額と、採用後受ける1年間の給与額の差額を支給するものである。

【質疑】年額600万円を限度とした根拠を伺いたい。

【市民病院事務部長】市民病院への勤務を希望していた医師と面談し、給与面での合意が得られず医師確保を断念したこともあった。過去の事例等を勘案し、年額600万円以内の支給であれば、特殊な事例を除いて対応できる額と判断し、提案した。

【質疑】新しく勤務する医師と以前から勤務している医師との給与に差が生じるおそれはないか。

【市民病院事務部長】手当を支給することにより、現在在職している医師との差が生じたときは、均衡上必要と認める範囲内で医療業務手当として調整手当を支給する。

(二問一答方式)

地域力創造アドバイザー事業について

【質疑】地域力創造アドバイザー事業を市としてどのように活用していくのか伺いたい。

【企画部長】本市では人口の減少や流出が顕著になっており、人口減少対策や交流人口増加対策、定住促進対策が喫緊の課題となっている。また、市民生活においても、市民の買い物行動や余暇活動の市外依存度が高まるなど、地域経済等の活力も低下している。このような状況の中、地域活性化に向けて何か行動を起こさなければならぬとの危機感から、地域住民のエネルギーと地域資源を生かしたまちづくりの取り組みを行ってみたいと、本事業に応募し、全国13市町村の一つに採択された。まちづくりに熱心な市民による「ワーク



地域力創造アドバイザー事業セミナー

ショップ」の開催を通じ、市民の立場から、「人が集まる魅力的で元気なまちづくり」について協議・検討していただき、地域活性化や定住促進を目指し、市民との協働による事業の推進に向け取り組んでいくものである。

(二問一答方式)

水道事業の経営健全化について

【質疑】前年度に比べて、給水人口普及率、有収水量は減っているのに収益がふえているのは、料金の改定によるものか。

【上下水道部長】合併時から抱えていた料金の不均衡の問題を、平成21年度に統一することができた。その結果、前年比3.2%の収益増が図られた。

【質疑】平成21年度の未処理分欠損金(累積の欠損金)の実態及び今後の改善方法について伺う。

【上下水道部長】合併時にあった累積の欠損金が毎年積み上がってきたが、平成21年度において初めて単年度黒字になり、累積の欠損金も初めて減少させることができた。今後も、水道事業のもう一つの予算である企業債元金償還や建設改良費が中心である資本的収支の不足額を補う内部留保金を確保

しながら、公営企業経営健全化計画を踏まえ欠損金の削減に努めていく。(二問一答方式)

市民病院の診療体制構築について

【質疑】医師確保は徐々に改善が進んでいるが、今後の放射線技師、検査技師及び看護師の確保について伺いたい。

【答弁】

【市民病院事務部長】本年4月以降、地域医療再生計画による寄附講座の開設により医師の確保がなされ、8月1日現在13名の常勤医師による診察を行っている。それにより入院患者が増加し、各部署で人員が不足している。今後は、医師数を反映した診療体制を構築すること及びその体制に見合った医療スタッフの配置計画を策定し、不足の部署においては計画的に配置できるように人員の確保をしていきたいと考えている。(総括方式)



市民病院常勤医師(13名)

一 般 質 問

市政全般の問題をただず一般質問は、9月3日、6日、7日に行われ、14人の議員が85項目に及ぶ質問をしました。その主なものは次のとおりです。

環境・エコ問題への取り組みは

質問 【水越議員】 環境・エコ問題についてはさまざまな

取り組みを行っているが、3点ほど伺いたい。①養蚕エコの会が昨年7月に設立され、会員525人で標語・ポスターの作成、広報紙の発行、リサイクル回収等を行っている。他の地区でもこのような取り組みを行っているのか。②本市の温暖化対策の取り組みはどうなっているか。③ごみの減量化を進めるには、商品包装が過剰包装にならないよう、行政、流通業者、消費者等が共通の問題として取り組むことが必要と考えるがどうか。

答弁

【市民環境部長】 ①養蚕地区地球環境を考える会（通称・養蚕エコの会）は、地域の皆様が自主的に設立し、環境問題について考え、行動している。

市内の同様な活動では、クリーンリサイクル下館地区推進委員会、関城地区ごみ減量化委員会、クリーンアップ明野、協和地区ごみ減量化推進会議等がごみの減量化に取り組んでいる。②平成18年度に筑西市地球温暖化対策実行計画を策定し、平成23年度までに温室効果ガス排出量を4%削減することを目標としている。平成20年度は4.2%、平成21年度は7.1%を削減し、当初の目標を達成している。③ごみの減量化に対しては、資源リサイクル推進事業を市の重点施策として取り組んでいる。

（総括方式）



プレミアム商品券で商業の活性化を

質問 【増淵議員】 私は、小売業

を営み、やる気のある仲間と頑張っている。しかし、本市の商業環境は非常に厳しく、後継者不足などによる店舗の閉鎖でシャッター通りになることが危惧されている。以前、国の定額給付金給付事業があり、この事業をきっかけとして、現在も市内で大感謝祭が実施されている。今回も地元商業の活性化、地域の元気を取り戻すために、全商業団体等と協力し、プレミアム商品券の発行を提案したい。市ではプレミアム商品券の発行について、協力をいただけるのか。また、予算にどのように反映できるのか伺いたい。

答弁

【経済部長】 昨年度、国からの定額給付金が各家庭に給付され、それに合わせて、関連イベント事業補助を下館商店連合会及び関城、明野、協和の各商工会に対して支援し、市民の消費需要の喚起、消費拡大による商業活性化に努めたところである。プレミアム商品券の発行により、額面金額にプレミアム額を加算した金額の売り上げがあり、経済効果は非常に大きいと考えている。今

後、各商工団体の関係者との意見交換を重ね、問題点及び財政状況を勘案しながら、協議、検討をしてまいりたい。

（総括方式）



稲荷町商店街

南北一体化事業と下館駅のバリアフリー化について

【内田議員】 下館駅周辺の南北一体化は合併協議会で決められた中心市街地整備事業としてどのような検討がされたのか。また、南北一体化事業と駅バリアフリー化と駅周辺の整備事業とは関連しているのか、全体的に対処する部署をつくってはどうか。

【土木部長】 下館駅周辺整備検討準備委員会では、立体的な整備は行わず東西踏切の機能拡充を図ることとされた。また、新市建設計画の南北一体化事業と駅周辺整備事業は関連性があると考えます。

【内田議員】 下館駅のバリアフリー化事業では、駅の橋上化案を含めて考えているか。

【土木部長】橋上化は考えていない。ペDESTリアンデッキ改修を一案として検討すべきかと考える。

【内田議員】駅のバリアフリー化は、JR水戸支社の提案を待つている状態だが、もっと積極的に、駅前商店会・高齢者団体・障害者団体の人たちの要望を聞き、対案をつくるための会議を開いてはどうか。

【企画部長】駅南北の一体化については下館駅周辺整備検討準備委員会の結論が出て、それを基本的に整備がされていくものと解釈している。駅バリアフリー化はJR水戸支社からの計画が出された段階で、必要に応じて皆様のご意見をお聞きしたいと考えているのでご理解賜りたい。（二問一答方式）



下館駅

人口減少問題への対策は

質問

【須藤議員】合併時の人口は、約11万4千人であったが、6千人程度減少し、約10万8千人となっている。自然減

少もあるが、転入者に比べ転出者の割合が非常に多い。そのような状況の中で、①転出が多い理由など、人口減少に対して、市はどのような要因があると思われるか。②平成18年度策定の総合計画で平成28年度の人口を10万8千人と想定した。既にそれを下回っているがどのような積算をしたのか。人口増加の施策として、③企業誘致は重要だが、企業誘致担当課はあるのか。④土地建物が入手しやすい環境づくりが必要だと思いが、市の方策は。

答弁

【企画部長】①自然減少では、出生数の減少と高齢者の死亡の増加、社会減少では、15歳以上の生産年齢人口が首都圏などに流出しているものと推測している。②企業立地や産業集積の促進への期待感とともに、市民が住み続けられるまちづくりの展開により、定住人口の確保を図るなど、希望的な観測を込め想定した。③企画課で担当している。



人口と世帯（市民課）

【土木部長】④市街化調整区域での住宅建築が、ある程度緩和される区域指定制度を平成23年度に導入する予定である。（総括方式）

川島駅周辺整備と地籍調査について

質問

【藤川議員】川島駅周辺は公図混乱地区であるため、整備計画の前段で地籍調査が実施された。その進捗状況を伺いたい。

また、本来の目的はこの地区の整備開発であるので、駅前の道路幅と国道50号に直結する道路をつくる考えはあるのかお聞きしたい。川島地区は若年人口が多く、開発により利便性が増せば、人口増による活性化が見込まれる地区だと考える。これこそ市民が夢の持てる、希望の持てる、また「元氣なまち」になる施策だと思うので、着手する考えはあるのか伺いたい。

【経済部長】川島駅周辺の地籍調査はA1地区（駅南）が平成21年度に登記完了、A2地区（県道西側）は22年度に登記完了予定で、今年度末で65%の進捗となる。A3地区（駅北）は22年度に閲覧、23年度に登記完了となる予定である。

答弁

【土木部長】川島駅周辺整備研究会が中心となり、平成14年に川島

駅周辺整備構想が策定された。それを受け、市は15年に川島駅周辺整備計画を協議、策定した。計画の中の駅前広場の整備には膨大な事業費が想定され、市の財政状況からみて長期的な検討が必要である。今後は、駅周辺の外周道路の整備を含め、筑西市都市計画マスタープランに沿って、副次的な都市拠点として検討してまいりたい。（総括方式）



川島駅前通り

市民病院敷地への新中核病院建設推進を

質問

【鈴木議員】市民病院は、今年度、自治医大と日本医大から寄附講座による医師派遣を受け、常勤医師が13名となり、さらに、閉鎖していた4階病棟を再開するなど診療体制が整いつつある。しかし、地域医療再生計画については、新中核病院の建設場所が決まらず検討委員会が開けない状況と聞く。市民は、現在の市民病院敷地への新中核病院建設を望んでいる。その理由は3点あり、1点目は、筑西市と桜川市をあわ

せた約16万人のうち、7割が筑西市民である。また、筑西・下妻保健医療圏の約半分を筑西市と結城市で擁している点からも、市民病院が中心地である。2点目は、新たに土地を購入すれば、約3億から4億円の負担となるが、市民病院敷地なら負担がない。3点目は、JR水戸線の玉戸駅が至近にあり、交通の便がよい。以上の理由から、新中核病院を市民病院敷地へ建設願いたいと思うか。

答弁

【市長】市民病院は、常勤医師が13名となり患者数もふえており、今後は、地域医療再生計画をどのように進めるかが課題となってくる。新中核病院の位置についても、議員のご提案や市民からいただいたご意見を検討委員会でご述べ、その経過と進捗状況をできるだけ市民の皆様に伝えてまいりたい。
(総括方式)



**市道の拡幅で
安全な生活道路へ**

質問

【加茂議員】生活道路について2点伺いたい。1点

目は、西方郵便局西側の通学路の整備について、6月議会では、通学用の歩道だまりを計画することとであった。非常に危険な状態が続いており、その後の進捗状況を伺いたい。2点目は、幸町から国道50号への市道の拡幅整備である。特にダイヤモンドホール近くの5差路が非常に危険だが、先日の答弁では信号機の設置は難しいとのことであった。そこで、地元から要望の強い幸町から国道50号の筑波銀行わきへ続く市道の拡幅を検討できないか伺いたい。

答弁

【市長】西方郵便局西側の通学路については、歩道だまりがなく懸案箇所であった。担当部局の用地交渉により関係者の了承を得ることができ、今後、整備を進めることとなった。次に、玉戸市内の市道拡幅整備については、玉戸5差路の渋滞緩和を含めた周辺道路整備の必要性は承知しており、今後、関係機関と協議するよう指示してまいりたい。



西方郵便局

**住宅リフォーム助成
で地域活性化を**

【土木部長】西方郵便局西側の通学路は8月末に関係者の了承をいただき、年度中の工事完成を目指している。また、玉戸市内の道路拡幅整備は、用地の確保が必要であり、地元関係者及び水路管理者と協議し、最善の道路整備の方策を検討していきたい。(総括方式)

【三浦議員】下妻市では9月から住宅リフォーム助成を始めたが、その目的は商工業者の活性化のためだという。そこで本市の商工業者の推移を聞きたい。

【経済部長】下館商工会議所と筑西市商工会のデータでは、事業所は17年度5,301、18年度5,207、19年度5,116、20年度5,022、21年度4,893と、5年間で408事業所が減少している。

【三浦議員】非常に深刻な状況であり、市独自で何らかの支援策が必要ではないか。

【経済部長】県内では8市町が住宅リフォーム助成制度を実施しており、非常にすぐれた地域活性化の施策と考える。また、国・県からの地域住宅交付金もあるので、あわせて活用を検討していきたい。

【三浦議員】下妻市では市と商工会から10%ずつ、あわせて20%の助成で、市を挙げて取り組んでいる。経済への波及効果も考え、本市でも取り入れてはどうか。

【経済部長】大きな経済効果があるので前向きに検討したい。なお、介護認定を受けた方には、上限20万円で経費の9割を補助する住宅改修給付制度があるので、重複しないよう研究してまいりたい。
(二問一答方式)



筑西市商工会

**史跡の保存とサイクリング
ロードの整備推進を**

質問

【金澤議員】本市の北東部は歴史的地帯である。古郡地区には、国指定文化財の新治郡衙(ぐんが)跡及び新治廃寺跡、小栗地区には、昨年12月に国の重要文化財の指定を受けた小栗内外大神宮や蓬田天満宮などがある。小貝川沿いには、いきいきロードがあ

り、その一部がサイクリングロードと称され、その沿道には桜並木があり、絶好の花見スポットである。市民の健康づくり及び市民が史跡保存の大切さを考える機運醸成を図るため、史跡の保存やサイクリングロードの整備を今後どのように進めるのか。また、桜の枝が伸びて通行の妨げとなっているため、剪定等の管理はどのようになっているのか伺いたい。

【土木部長】 除草は、夏に全線、秋は危険箇所を中心に実施、路面は巡回等をし、できる限り補修している。枝の剪定は、来年度予算に要望したい。機運醸成は、市民協働の観点から、みずからの地域はみずからきれいにする意識が大切と思われる。

【教育次長】 ご指摘の地区は、都市計画マスタープランに歴史的資源と位置づけられており、歴史的文化財を良好な状態で後世に保存継承することは、我々の大切な使命と考える。

(総括方式)



サイクリングロード (いきいきロード)

財政状況と 今後の方針について

質問

【秋山議員】 平成21年度決算では市税は対前年度比20億円もの減額となっており、本市の財政は大変厳しいものと認識している。そのような中、どのような点に着目し財政運営を行っているのか、また、今後の方針についても伺いたい。

答弁

【企画部長】 ご指摘のとおり本市の財政状況は厳しいが、若干改善が図られたところである。財政の健全性を図る指数の経常収支比率は、平成18年度は県下ワースト1の99・8%、実質公債費比率はワースト3の18・8%であったが、平成21年度決算ではそれぞれ91・3%、16・9%と緩やかながらも改善が図られてきた。その要因としては、平成18年度からの財政健全化計画により、事務事業の見直しなどの行財政改革を強力に進めてきたことが挙げられる。特に、市債の発行の抑制、定員適正化計画による人件費の抑制が大きな要因と考えている。今後は、日本経済も不透明な状況が続くと予想され、本市の財政も税収の伸びは期待できず、引き続き予断を許さない状況と認識してい

る。これに対応するため、持続可能な財政構造への転換を図る必要があると考えている。

(総括方式)



財政健全化計画

高校野球の できる 野球場建設を

【榎戸議員】 スポーツ施設の現状をどのように認識しているか。

【市長】 市民スポーツは大変活発であり、特に下館総合体育館は充実した施設を完備し、剣道や柔道そして卓球で県レベルの大会が開催されている。しかし、陸上競技場や野球場の充実度は非常に低いと認識している。

【榎戸議員】 野球場に関して言うと、8月には1都7県から64チームが参加する関東学童選抜野球大会が開催されているが、スコアボードもなく、更衣室やシャワーもない野球場に2千人もおいでいただき、申し訳ないようだ。筑西

野球連盟からの野球場建設の要望も30年以上前から上がっている。その声についてどう考えるか。

【市長】 ご指摘のとおり、野球場の建設を求める市民の声は多く耳にしている。新市建設計画で具体的に位置づけた事業ではないが、合併特例債の活用期限の平成26年度までに整備を検討したい。

【榎戸議員】 高校野球の公式試合が行われないのは県西地域だけである。高校野球を開催できるように野球場の建設をお願いしたい。
【市長】 高校野球や、各種イベントが開催できるような施設を検討していきたいと考えている。

(二問一答方式)



野球場 (下館運動場)

防災無線の問題点は

質問

【真次議員】 2月1日から統一して運用開始された防災無線は市民の安全を守るために大変役立っていると考える

る。そこで、①防災無線の設置数、②放送の発信元について具体的に、③放送が聞こえないという苦情への対処法、以上3点を伺いたい。また、運用開始から半年が経過し、総点検が必要だと考えるがどうか。

答弁

【総務部長】①下館地区

142カ所、関城地区66カ所、明野地区66カ所、協和地区45カ所、市内全域で319カ所に放送塔を設置している。②消防署からは火災発生時の消防団出動要請と火災鎮火のお知らせ、市役所からは正午・夕刻の時報、小中学生の下校時のお知らせ、災害発生時の避難情報、各種行政情報、警察署からの依頼による行方不明者の情報提供依頼。また、全国瞬時警報システム（Jアラート）による緊急地震速報や武力攻撃事態等の情報を国が防災無線を自動起動させて放送するもの等がある。

③聞こえ方の要望や苦情には現地での試験放送によりスピーカーの向きを調整する等に対処している。また、通話無料のフリーダイヤルによる放送内容確認のサービスも導入している。なお、点検についてはその都度状況を確認しながら総体的に行っているので、ご理解いただきたい。

（総括方式）

（フリーダイヤル 0120-0296-99）



防災無線

**子宮頸がんワクチンの
公費助成は**

【尾木議員】子宮頸がんワクチンの助成事業は、既に全国の一部自治体で実施されており、国も来年度予算に計上することである。市長も来年度予算措置を考えるとのことであるが、どのくらいの助成を考えているのか。

【市長】国から接種対象年齢等の明確な方針が示されていないことから、全額助成か一部助成にすべきか慎重に検討してまいりたい。

【尾木議員】国は、3分の1の助成、県は未定ということであるが、県の実施・未実施にかかわらず、市としては助成を行うのか。

【市長】県の動向はいずれにしても、市独自で助成を行っていきたいと考えている。

【尾木議員】予防ワクチン接種には、対象者及び保護者の認識が肝要であるが、どのように対応するのか。

【健康増進部長】子宮頸がん予防

の重要性を認識してもらおうような説明が必要であり、来年度に向け検討してまいりたい。

【尾木議員】専門的な講師を招き、市長初め男性の方にも認識を深めてもらいたいと考えるが。

【健康増進部長】真壁医師会主催の市民フォーラムに女性のがんに関する内容が盛り込まれているので、参加を呼びかけたい。

（二問一答方式）



**地域医療再生計画と
2次救急医療体制について**

質問

【百目鬼議員】筑西・下妻

保健医療圏は、心筋梗塞や脳梗塞の急性期医療がない医療砂漠となっており、今回の新中核病院の建設はそこから抜け出す千載一遇の機会である。県の地域医療再生計画では、筑西・桜川地域の医療提供体制検討委員会は終了し、建設の基本計画に入る時期となっている。しかし、建設場所が決まらないことを理由に検討委員

会が一度も開催されていないのはどういうことか。県西総合病院は桜川市と本市が共同で運営しており、本市は、市民病院、新中核病院と合わせ3つの公立病院を抱えることになってしまふ。県西総合病院を残し、市民病院敷地に新中核病院を建設することを考えてはどうか。また、自治医大の寄附講座による2次救急医療体制の整備はどうなっているか。

答弁

【市長】ご指摘のとおり、検討委員会は建設場所の問題で開催されていないが、今後、市民病院敷地への新中核病院建設も念頭に地域医療再生計画実現に努めてまいりたい。

【市民病院事務部長】自治医大からは現在4名の医師が常勤医師として勤務し、総合診療科を設置している。その結果、急患受け入れも前年比15%の増となっており、今後も2次救急医療の整備に努力してまいりたい。

（総括方式）



市民病院待合室

議会日誌

7月

- 29日 第1回筑西広域市町村圏事務組合臨時会
- 30日 第2回県西総合病院組合議会定例会

8月

- 2日 議会運営委員会・全員協議会
- 27日 議会運営委員会
第2回茨城県後期高齢者医療広域連合
議会定例会

9月

- 1日～15日
第3回筑西市議会定例会
- 17日 広報特別委員会

10月

- 7日 県西市議会議長会臨時会
- 12日 広報特別委員会
- 22日 第2回下妻地方広域事務組合議会定例会

請願・陳情について

請願・陳情は、

- ① 邦文で
- ② 願いの要旨
- ③ 提出年月日
- ④ 請願・陳情者の住所、氏名、押印
- ⑤ 紹介議員の署名、押印

(法人や団体等の場合は、その名称と代表者名)
(陳情書には不要)

以上を記載し、議長あて提出。
なお、定例会ごとに締め切り日がありますので、事前に議会事務局までお問い合わせください。

本文

〇〇〇〇に関する請願(陳情)
【要旨】
.....

〇年〇月〇日
提出者(代表者)
住所.....
氏名.....
筑西市議会議長
〇〇〇〇様

表紙

〇〇〇〇に関する請願書
(陳情書)

紹介議員 〇〇〇〇 氏
(陳情書の場合、紹介議員は
必要ありません)

編集後記



今回が最後となる先輩議員の一般質問の日、傍聴席は、駆けつけた多くの市民で満席でした。永い間、信頼関係を築いてこられたことに感動いたしました。議員は《市民と市政を結ぶパイプ役》であること、また、チェック機能を果たすことの大切さなどをあらためて実感しました。

議員は質問するために、市民のみなさんのつぶやきをしっかりとキャッチできたか、改善策はないかと前日も遅くまで準備し、そして、勇気と気力を持って質問席に立ちます。託されたみなさんの願

宮崎 勇議員が8月30日、仁平正巳議員が9月30日に議員辞職されました。

行政視察来市

本市の行財政調査のため、次の議員が来訪されました。

- 10月8日 群馬県藤岡市議会(3名)
- ▼デマンドタクシーについて

いをどう実現させるか議員の力量が試されます。どうぞ、傍聴においでください。(加茂 幸恵)

【広報特別委員会】

委員長	増 淵 慎 治
副委員長	吉 原 一 利
委員	真 次 洋 行
	金 澤 良 司
	水 柿 一 俊
	外 山 壽 彦
	加 茂 幸 恵
	新 井 利 平
	藤 川 寧 子

筑西市議会事務局
筑西市下中山732-1
☎24-21111(内372)

あなたも傍聴してみませんか

次の定例会は
11月30日
に開会の予定です。

本会議は10時からです。
議会の放映は、市役所本庁舎
1階エントランスホールと4階
議場前ホールでご覧になれます。